



これなあに？

市が作った『身障者用トイレ』マーク

これは、身障者がトイレを使用していない時は、赤ちゃんを連れのお母さんやお年寄りなども「身障者用トイレ」を使用できることを表したマークです。

今まで市の施設にある「身障者用トイレ」には、車いすのマークが表示されているだけでしたが、市民の皆さんから、「身障者用トイレ」でも空いている時は、赤ちゃんを連れのお母さんやお年寄りなども使用できるようにしてほしいとの要望があったため、大館市身体障害者協会車いす部会などの了解を得て、今年度市が新しく作ったものです。

右側に赤ちゃんを抱いたお母さん、左側に車いすとお年寄りが図案化され、大きさは20cm四方です。

夢中 熱中 青春ライフ！

クローズアップ

クラフト研修生

39

木目の美しさ、手ざわりは、人にやわらかなぬくもりを与えてくれます。今回は木の魅力にとりつかれ、北海道置戸町で木材加工の研修を積んでいて、その研修の一環として大館市で曲げものの技術修得に励む鈴木健郎さんにお話を伺いました。

置戸町で木工品作りをやってみようと思ったのは、都会のアスファルトやコンクリートより土や草のにおいがする所で生活したいと思っていたことと、置戸町では木材加工品を町の特産とし、その職人を養成するため木材加工研修生を募集していることを雑誌で知ったからです。それと、東京で就職してセールの仕事をしていたんですが、「物を売る」ことより「物を作る」ことに魅力を感じようようになっていました。自分が手がけたものが形として残るような仕事をしてみたい、そして、作ったものを人に使って喜んでもらえたらどんなに素晴らしいだろうと思っただけです。私は名古屋の出身ですが、自然が一杯残っている置戸町を一度訪ねて、ここに住もうと決めました。

木工品作りの勉強を始めてから気がついたんですが、木は「生き物」なんです。早く自分の思いどおり木を扱えるようになりたいですね。材料の中にはどうやっても自分の思い通りになってもいけないものもあって、なかなか難しいんです。それだけにやりがいがあるって面白いですし、いつでも「生き物」を扱っているんだという意識を怠らなと思っています。早く自分の思いどおり木を扱えるようになりたいですね。



大館の方言講座

性格・精神状態に
関することば

- ◆アクタレー 乱暴な人
 - ◆アサネコギ 朝寝坊な人
 - ◆ウソコギ うそをつく人
 - ◆エヒコ すぐふくれる子
 - ◆ゴボホリー ごねる人
 - ◆ジグナシ 意気地無し・憶病な人
 - ◆ジョバリコギ 強情な人・頑固な人
 - ◆チャカシ 軽率な人
 - ◆タンバラコギ 短気な人
 - ◆バチハダカリー 罰あたりな人
 - ◆ヒチヨマガリー へそ曲がり
 - ◆ヨグタガレ 強欲な人
 - ◆ヨバリコギ 夜ふかしする人
- 『大館市史』より

7月のテーマ関連図書コーナー 『夜空』
毎月第1金曜日 14時30分
中央図書館の休館日 7月16日、17日、28日

◆児童書
賢治 ◆実験はかせの理科の目・科学の芽(大竹三郎) ◆チロの星空カレンダー(藤井旭) ◆長崎ハウステンボス図鑑(講談社) ほか

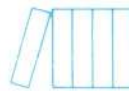
◆月よう日はなにたべる？(エリック・カール) ◆世界昆虫記(今森光彦) ◆卯いろいろ(ジ・バートン) ◆鹿踊りのはじまり(宮沢賢治) ◆海外生活事典(樋口容視子) ◆ワープロここが不思議(古瀬幸広) ◆留学生小泉信三の手紙(小泉タエ) ◆華頂の花(阿井景子) ◆わたしの遠足日記(片山健) ◆鉱石倶楽部(長野まゆみ) ◆珈琲挽き(小沼丹) ◆二百回忌(笠野頼子) ◆ベルリン廃虚の日々(ジョージ・クレア) ◆ロザムンドおばさんのお茶の時間(ロザムンド・ビルチャー) ◆神の拳(上下) (F・フォーサイス) ほか



人間の社会生活の基盤の一つに言語がある。社会生活を円滑にするうえで、日常の言葉遣いをおろそかにしないことが大事であると説く著者の、身近な日本文化論。

『国語の時間』

竹西寛子 著 読売新聞社



私の本棚

中央図書館新着図書

